



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月10日

東

上場会社名 株式会社NJS

上場取引所

コード番号 2325

URL <https://www.njs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 雅亮

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 蒲谷 靖彦 TEL 03-6324-4355

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	18,416	7.3	2,953	9.3	3,018	8.3	1,894	1.6
2024年12月期第3四半期	17,171	1.0	2,702	60.7	2,787	56.8	1,865	43.9

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 3,494百万円(66.2%) 2024年12月期第3四半期 2,102百万円(37.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	198.99	—
2024年12月期第3四半期	195.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	35,663	28,749	80.4	3,012.23
2024年12月期	31,122	26,191	83.9	2,745.57

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 28,685百万円 2024年12月期 26,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	45.00	—	50.00	95.00
2025年12月期	—	50.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想の修正については、2025年10月28日に公表いたしました「2025年12月期 配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	12.9	3,600	20.3	3,700	17.8	2,350	11.1	246.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の修正については、2025年8月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) CDCアクアサービス株式会社
NJSEI AUSTRALIA PTY LTD 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	10,048,000株	2024年12月期	10,048,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	524,888株	2024年12月期	532,889株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	9,519,719株	2024年12月期 3 Q	9,522,170株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、国際情勢の不安定化、米国のトランプ政権による通商政策の影響に加え、欧州や中国の経済減速、地政学的リスクの高まりなどが懸念されており、依然として不安定な状況が続いています。また、気候変動の影響は一層深刻化しており、大洪水、熱波、干ばつなどが世界各地で頻発しています。持続可能な社会に向けた取り組みは、引き続き国際的な最重要課題となっています。

国内においては、経済成長の停滞、少子高齢化の進行、財政健全化への懸念に加え、物価高騰が国民生活に影響を与えています。水インフラ事業においては、2024年の能登半島地震以降、災害対策の強化が求められており、2025年1月に発生した埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故をはじめ、インフラの老朽化とメンテナンス不足が顕在化しています。これらの課題に対応するため、インフラの再構築と管理の高度化・効率化が急務となっています。

こうした状況の中、NJSグループは、コンサルティングとソフトウェアの両面からインフラの高度化に取り組んでいます。コンサルティング分野では、地域課題や環境問題の解決に向けたまちづくり、防災・減災、環境保全の提案に加え、インフラ再構築に向けた戦略立案、技術革新、マネジメント支援を展開しています。さらに、グローバルな課題解決に向けて、現地プロジェクトの推進や人材育成支援にも注力しています。

ソフトウェア分野では、アセットマネジメントや災害対策支援システムの提供、インスペクション分野では、ドローン、センサー、画像AIを活用した点検調査技術の革新、カスタマーサービス分野では、利便性向上と信頼醸成を図るシステムの開発・提供を推進しています。

また、当社は2025年9月に成長戦略の一環として本社を移転しました。多様な人材の確保・育成や働き方改革の推進を目的とし、新オフィスでは心理的安全性と生産性を両立する環境づくりを進めています。なお、本社移転に伴う費用は、特別損失として計上しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、連結受注高は23,322百万円(前年同期比22.6%増)、連結売上高は18,416百万円(同7.3%増)となりました。

利益面では、営業利益は2,953百万円(前年同期比9.3%増)、経常利益は3,018百万円(同8.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,894百万円(同1.6%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

(国内業務)

国内業務については、インフラの再構築に向けた調査・設計業務、災害対策関連業務、インフラの点検・調査を効率化するインスペクション事業、官民連携によるPPP業務・オペレーション事業など、多様な分野に取り組んでまいりました。

この結果、受注高は21,872百万円(前年同期比22.5%増)、売上高は17,017百万円(同10.6%増)、営業利益は3,093百万円(同9.4%増)となりました。

(海外業務)

海外業務については、アジア、中東、アフリカなどの新興国における水インフラ整備プロジェクトを中心に事業を推進してきました。

この結果、受注高は1,450百万円(前年同期比24.2%増)と堅調に推移した一方で、売上高は1,398百万円(同21.3%減)となり、営業損失は139百万円(前年同期は営業損失126百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して4,540百万円増加し35,663百万円となりました。この主な要因は、受取手形、完成業務未収入金及び契約資産が1,238百万円減少した一方で、現金及び預金が2,275百万円、保有株式の時価上昇により投資有価証券が2,639百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,982百万円増加し6,913百万円となりました。この主な要因は、業務未払金が231百万円減少した一方で、契約負債が1,145百万円、賞与引当金が392百万円それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して2,558百万円増加し28,749百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が938百万円、その他有価証券評価差額金が1,794百万円それぞれ増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は80.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期連結業績予想につきましては、2025年8月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,681,274	19,956,507
受取手形、完成業務未収入金及び契約資産	6,255,161	5,016,713
未成業務支出金	965,851	1,139,995
その他	577,019	732,015
貸倒引当金	△15,775	△28,842
流動資産合計	25,463,531	26,816,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	630,615	744,590
土地	293,652	293,652
その他（純額）	199,537	235,412
有形固定資産合計	1,123,805	1,273,654
無形固定資産		
のれん	63,287	667,163
その他	659,187	697,174
無形固定資産合計	722,474	1,364,338
投資その他の資産		
投資有価証券	2,111,273	4,751,143
繰延税金資産	415,610	11,597
その他	1,352,954	1,502,629
貸倒引当金	△67,365	△56,621
投資その他の資産合計	3,812,473	6,208,747
固定資産合計	5,658,753	8,846,741
資産合計	31,122,285	35,663,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	762,531	531,447
未払法人税等	684,910	592,550
契約負債	203,547	1,349,207
賞与引当金	792,625	1,184,638
受注損失引当金	88,463	91,500
株主優待引当金	27,182	14,977
その他	1,768,192	1,770,554
流動負債合計	4,327,452	5,534,876
固定負債		
退職給付に係る負債	403,246	781,038
役員退職慰労引当金	13,050	6,490
役員株式給付引当金	51,134	58,605
繰延税金負債	40,201	400,216
資産除去債務	59,188	105,324
その他	36,759	26,697
固定負債合計	603,580	1,378,372
負債合計	4,931,033	6,913,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,000	520,000
資本剰余金	276,555	276,555
利益剰余金	24,960,756	25,898,763
自己株式	△874,223	△854,510
株主資本合計	24,883,089	25,840,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,054,809	2,849,659
為替換算調整勘定	108,444	△22,962
退職給付に係る調整累計額	78,085	18,294
その他の包括利益累計額合計	1,241,339	2,844,992
非支配株主持分	66,823	64,081
純資産合計	26,191,252	28,749,881
負債純資産合計	31,122,285	35,663,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	17,171,461	18,416,512
売上原価	9,671,481	10,408,705
売上総利益	7,499,979	8,007,806
販売費及び一般管理費	4,797,013	5,054,006
営業利益	2,702,966	2,953,799
営業外収益		
受取利息	15,934	31,786
受取配当金	37,910	31,857
その他	36,638	32,403
営業外収益合計	90,483	96,047
営業外費用		
支払利息	27	18
為替差損	5,338	31,605
その他	572	190
営業外費用合計	5,938	31,814
経常利益	2,787,511	3,018,033
特別利益		
負ののれん発生益	42,549	—
固定資産売却益	—	312
社債償還益	—	91
資産除去債務戻入益	—	35,831
特別利益合計	42,549	36,234
特別損失		
固定資産除売却損	624	2,770
本社移転費用	—	147,599
損害補償損失	25,850	—
損害補償損失引当金繰入額	8,150	35,000
特別損失合計	34,624	185,370
税金等調整前四半期純利益	2,795,435	2,868,898
法人税、住民税及び事業税	966,857	1,034,244
法人税等調整額	△37,729	△56,368
法人税等合計	929,128	977,876
四半期純利益	1,866,307	1,891,022
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,067	△3,329
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,865,240	1,894,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,866,307	1,891,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269,991	1,794,849
為替換算調整勘定	△6,259	△131,406
退職給付に係る調整額	△27,699	△59,790
その他の包括利益合計	236,032	1,603,652
四半期包括利益	2,102,339	3,494,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,101,272	3,498,004
非支配株主に係る四半期包括利益	1,067	△3,329

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を、第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	260,433千円	347,862千円
のれんの償却費	17,799	50,519

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内業務	海外業務	計			
売上高						
上水道	4,034,350	764,095	4,798,446	4,798,446	—	4,798,446
下水道	10,809,170	104,914	10,914,084	10,914,084	—	10,914,084
環境その他	549,813	909,116	1,458,929	1,458,929	—	1,458,929
顧客との契約から 生じる収益	15,393,334	1,778,126	17,171,461	17,171,461	—	17,171,461
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,393,334	1,778,126	17,171,461	17,171,461	—	17,171,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,393,334	1,778,126	17,171,461	17,171,461	—	17,171,461
セグメント利益又は 損失(△)	2,829,033	△126,066	2,702,966	2,702,966	—	2,702,966

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第2四半期連結会計期間において、株式会社ドーアの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「国内」セグメントにおいて42,549千円の負ののれん発生益が発生しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内業務	海外業務	計			
売上高						
上水道	4,457,767	507,223	4,964,990	4,964,990	—	4,964,990
下水道	11,580,053	151,620	11,731,673	11,731,673	—	11,731,673
環境その他	980,060	739,787	1,719,848	1,719,848	—	1,719,848
顧客との契約から 生じる収益	17,017,880	1,398,631	18,416,512	18,416,512	—	18,416,512
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,017,880	1,398,631	18,416,512	18,416,512	—	18,416,512
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	17,017,880	1,398,631	18,416,512	18,416,512	—	18,416,512
セグメント利益又は 損失(△)	3,093,559	△139,759	2,953,799	2,953,799	—	2,953,799

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、CDCアクアサービス株式会社の全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「国内業務」セグメントにおいてのれんが発生しています。なお、当該事象によるのれんの増加額は654百万円です。